

コンピューター社会に飲み込まれていく**世界**で  
どんなに AI による業務自動化が進んでも  
『手仕事』ではないといけない事が きっとある

生活の中にある当たり前  
**全ての物は誰かの手によって つくり出される**

パンを食べた事のある人はたくさんいるであろう  
しかし パンを作った事のある人はどれぐらいいるのだろうか

将来、未来は選択の連続で  
様々な人に出会い 助言があったとしても  
最後に決めるのは自分自身

今後貴重になるであろう 手仕事の尊さを  
自身の職である『レザークラフト』を通して  
**多くの子どもたちに 伝えたい**

子どもの頃の経験が いつの日か  
**夢**に向かう糧になりますように



**職人=未来を創る人**



## ■活動目的

多感で心身共に成長が目覚ましい子どもたちが、制作活動によって自己肯定感を高め、それぞれの未来をつくりだせるよう「未来の職人プロジェクト」を始動。職人による熟練した技術をもって、子どもたちにモノづくりの体験を得る機会を設ける。

量産化や過剰供給が蔓延している現代で見失われがちな、一つひとつの工程に思いを巡らす思考力、労力と時間をかけたものがあるという愛情、自らの手で制作を成し遂げるという達成感をレザークラフトのワークショップを通じて育む。また、同じ制作過程からも十人十色の異なる完成形を目にして、多様性を学ぶ。

## ■活動内容 レザークラフトの制作体験

### ■制作内容

#### ～オリジナルキーホルダーの制作～

- ・キーホルダーの専用キットを使用しハンマーを用いて様々な刻印を打ち込む
- ・所要時間：一人 5～15分程度
- ・汚れても良い、動きやすい服装でご参加ください



クラフト体験に使用する材料や工具はこちらで全てご用意します。作業台は、開催地でご用意いただきますようご協力お願いいたします。(学習用机や会議テーブル程の強度があれば十分です)

※制作ではハンマーを使用しますが扱うことの困難なお子様の場合は作業工程は当方がサポートします。



### ■プロフィール

氏名：加藤 匠 趣味：釣り  
経歴：1989年 北海道旭川市生まれ  
2013年 同市にハンドメイドレザーショップ『JUNCTION』をオープン  
2019年 学校訪問や生徒たちを店舗に招いてのワークショップを始める  
2021年 「未来の職人プロジェクト」をテーマに地元旭川や地方の児童デイサービスの訪問ワークショップを始める  
2022年 東京ビッグサイトで開催された第93回東京国際・ギフト・ショーにて、旭川市を代表し出店。SDGsをテーマとした地場産品のエゾシカ革を使用した物品を展開

現在の活動：国内外の厳選された皮革を使用し、自分のスキルを最大限に生かしながらクライアントやカスタマーのイメージを共有、オーダーメイド特化型で商品を作り出している。

今後の展望：多くの子どもたちに「物作り」を通して達成感、満足感、感動を与えていきたい。学校じゃ学べない“なにか”を伝えていければと思う。

<http://junction66.thebase.in/>

